

地球環境基金



助成金説明会 in 函館

～ SDGs を活動に活かそう！～

独立行政法人 環境再生保全機構は、民間団体（NPO・NGO）による国内外の環境保全活動を幅広く支援することを目的とした助成金「地球環境基金」の交付を行っています。この度、平成31年度地球環境基金の募集に関する説明会を函館市で開催いたします。

今回は申請書の書き方に加えて、いま国内外で注目され、申請する上でも踏まえておく必要がある SDGs（持続可能な開発目標）※ について、事例を交えてご紹介します。初めて助成金を申請する方や検討中の方など、多くの皆さまのご参加をお待ちしております！

※裏面をご覧ください

日時

2018年10月23日（火）18:30～20:30

場所

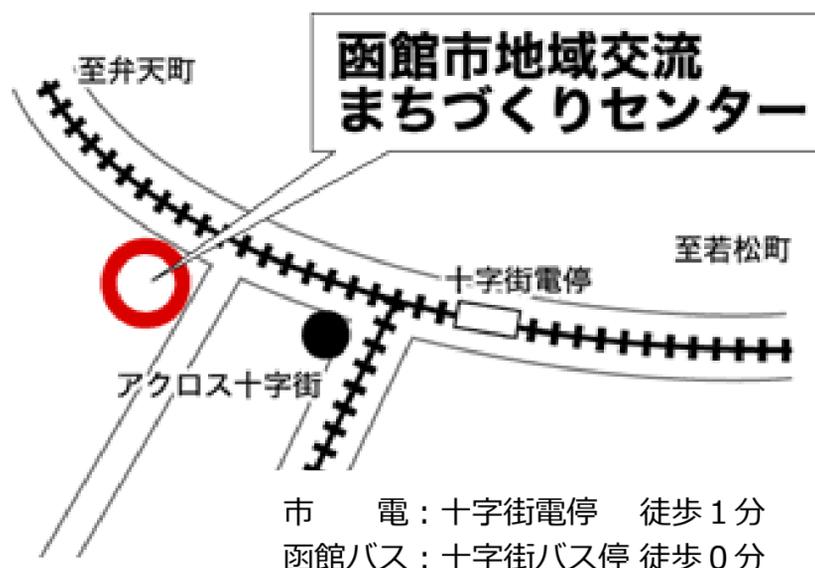
函館市地域交流まちづくりセンター
2階多目的ホール（函館市末広町4-19）

対象

NPO・NGO、社団・財団法人、任意団体
30名

プログラム

- 平成31年度地球環境基金について
- 助成金重点配慮事項の変更について
 - ・ SDGs（持続可能な開発目標）の概要
 - ・ SDGsに関連する事例の紹介
- 助成金の申請書書き方講座
- 質問、個別相談



＜主催＞ 独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金部

＜協力＞ 函館市地域交流まちづくりセンター、北海道環境パートナーシップオフィス

＜後援＞ 函館市

SDGs（持続可能な開発目標）について

SDGs（Sustainable Development Goals）は、2015年9月に国連サミットで採択された、2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界の実現に向けて、17のゴールと169のターゲットで構成されています。「地球上の誰一人取り残さない」を標語に、発展途上国だけではなく先進国においても取り組むものです。

地球環境基金では、平成31年度の助成金重点配慮事項として、SDGsの実現に資する積極的な取り組みの支援が新たに加わりました。

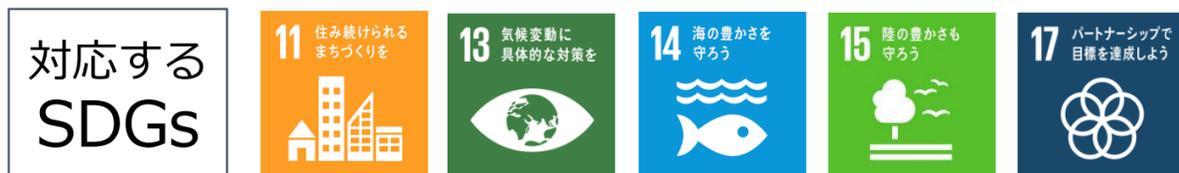
事例紹介：（一財）北海道国際交流センター（HIF）の取り組みとSDGs

外国人ボランティアと地域住民による大沼ラムサール地区の保全活動

HIFは、海外ボランティアと共に環境保全活動、地元住民も交えた勉強会やシンポジウムの実施、更には地域の国際化、若者の定住化、まちづくりの活性化などの視点から活動を展開しています。HIFでは本助成金を利用し、大沼の水質浄化のためのイカダづくり、森林保全活動として下草刈りなどを行いました。ラムサール条約登録湿地としての意識付けを行うため、セミナーや大沼ラムサール会員を募集し、100名以上の応援団を得ることができました。



水質浄化のためのいかだづくりをする
海外ボランティアと地域住民



対応する
SDGs

お申込み・お問い合わせ

<お申込み方法>

- ・ Webサイト <https://epohok.jp/event/9688> からお申込みください
- ・ 電子メール・電話 下記連絡先にお名前とご所属をお知らせください
- ・ FAX 下記お申込み用紙をご使用ください

<お申し込み先>

環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO北海道）担当：福田
TEL:011-596-0921 FAX：011-596-0931
E-mail：epoh-webadmin@epohok.jp



FAX申し込み用紙（FAX番号：011-596-0931）

お名前	ご所属	連絡先（メールアドレスまたは電話番号）